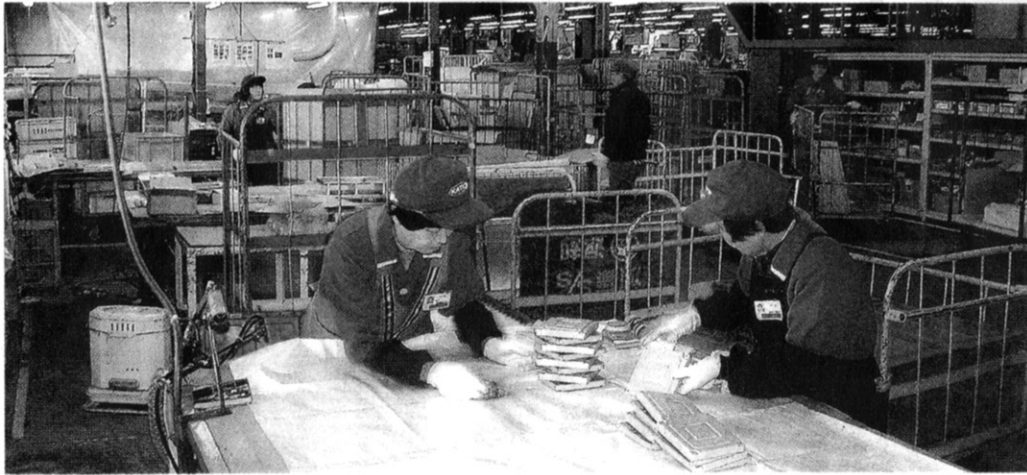


「人材ハーモニー賞」受賞、中津川市の加藤製作所



生き生きと働く高齢者。製造現場だけでなく品質検査など、さまざまな分野で活躍＝中津川市駒場、加藤製作所

従業員の半数が60歳以上

高齢者雇用、着々進める

高齢者雇用を進める中津川市駒場、金属製品の製造・加工業「加藤製作所」が、個人と企業の社会貢献活動を推進する日本ファイナンスロープ協会の「企業ファイナンスロープ大賞」の特別賞・人材ハーモニー賞を受賞した。(平田成範)



同賞は、企業の本業を生かした社会貢献活動を顕彰し、2003(平成15)年に創設。今回は、全国の企業から大賞1社、特別賞4社が選ばれた。加藤製作所は02年、工場の稼働率を上げようと「土曜・日曜はわしらのウィークデー

地域の活性化に貢献していることが評価された。高齢の従業員は製造現場をはじめ、品質検査、生産管理、総務など、さまざまな分野で活躍する。同社を定年退職後に再雇用というパターンもあるが、4分の3は未経験者。高齢者の多くは年金が満額もらえる範囲で就労しているため、生きがいを生むと同時に一般従業員の就労の場を奪うこともなく、コスト削減にもつながっている。

イ」を合言葉に、週末に働く高齢者を採用。ほぼ一年中の稼働を達成した。経済環境の悪化に伴い、現在は平日のみ稼働となっているが、それでも従業員100人中、51人が60歳以上で最高齢は82歳。受賞は、高齢者の生きがいや



高齢者と若手が一緒に休憩室でくつろぐ。食べ物や健康の話で盛り上がるという同